

## 特定調達案件は通常認証から簡易認証に移行しています（物品）

【2024（令和6）年4月～】

2024（令和6）年度より、特定調達案件については従来の通常認証方式から「簡易認証」方式に移行しています。なお、従来どおり電子入札と紙入札を並行して実施しています。認証方式の変更により、ICカードを所有していない業者様でも、紙入札のほかに電子入札が可能となります。ただし、随時登録業者については一定要件を満たさない場合は紙入札となります。（下記※1 ただし書き参照）

### 変更における注意点

- ・入札の際は、神戸市物品等競争入札参加資格の「認定通知書」に記載の、ID・パスワードが必要となります。随時登録の業者様にも登録認定時にID・パスワードを付与しますので、電子入札が可能です。（※1）ただし、当該案件の入札参加資格申請締切日までに登録認定が終了していない場合は、紙入札となります。
- ・ICカードで利用者登録をされた業者様はICカードを使用したログインが可能です。必ず「簡易認証」から電子入札システムにログインをしてください。なりすまし等の可能性を考慮し、ID・パスワードは第三者に譲渡・使用させないようお願いいたします。ID・パスワードでログインする場合は、セキュリティ強化のため、多要素認証を設定することが可能です。

多要素認証によるセキュリティ強化について

⇒「電子入札のセキュリティ強化について（ログイン方法の変更）」

<https://www.nyusatsu.e-hyogo.jp/www/contents/1664194226514/index.html>

【別添】：電子入札システムへのログイン方法変更について（お知らせ）

【別添】：簡易認証のログイン方法について

【別添】：多要素認証手順について

神行契第12863号  
令和6年3月29日

入札参加業者 各位

特定調達に係る一般競争入札の電子入札システムへのログイン方法変更について  
(お知らせ)

令和6年4月1日公告分より、特定調達に係る一般競争入札の案件（以下、特定調達案件という。）における兵庫県電子入札共同運営システム（以下、電子入札システムという。）へのログイン方法を変更いたします。

これまで紙入札で参加されていた業者様について、下記1（3）ただし書きに記載の場合を除き、電子入札が可能となります。

また、これまで電子入札で参加されていた業者様につきましては、入札参加資格申請・入札の際の電子入札システムの入り口が変更となります。

詳細は、下記の内容をご確認ください。

## 記

### 1. 電子入札システムへのログイン方法について（変更）

従来の「通常認証方式」から「簡易認証方式」に変更いたします。

#### （1）これまでICカードでログインしていた方

従来どおり、ICカードによるログインが可能です。

ただし、電子入札システムへログインする際は、「簡易認証」からとなりますので、ご注意ください。（詳細は、添付の「簡易認証のログイン方法」をご確認ください。）

(2) ICカードを所有しておらず、これまで紙入札で参加されていた方

ICカードを所有していなくても、電子入札が可能となります。添付の「簡易認証のログイン方法」に沿って、電子入札システムから、入札参加資格申請・入札を行ってください。

※ログインには、令和6.7年度神戸市物品等競争入札参加資格認定時に送付する認定通知書に記載の、ID・パスワードが必要です。

なお、従来どおり紙入札も可能ですので、ご希望の場合は契約監理課までご連絡ください。

(3) 随時登録業者

登録認定時に送付する「認定通知書」にて、ID・パスワードを付与いたしますので、そちらを使った電子入札が可能です。添付の「簡易認証のログイン方法」に沿って、電子入札システムから、入札参加資格申請・入札を行ってください。

ただし、当該特定調達案件の「電子入札による場合の申請書提出期限」までに登録の認定が完了しない場合、同期限までにID・パスワードを付与できないため、従来どおり紙入札でのご参加となります。認定の目途については随時こちらから連絡いたします。

## 2. 対象案件

令和6年4月1日より、神戸市が公告する特定調達案件全件（各所属による発注分を除く）において実施

## 3. 多要素認証について

ID・パスワードでログインされる業者様におかれましては、セキュリティ強化のため、任意で多要素認証を設定することが可能です。設定方法については、添付の「多要素認証手順」をご確認ください。関連リンクの「多要素認証によるセキュリティ強化について」も併せてご確認をお願いいたします。

#### 4. その他

従来どおり「通常認証」から電子入札システムにログインされた場合、当該案件は表示されませんので、十分ご注意ください。

担当：神戸市行財政局契約監理課物品契約担当

（市役所1号館2階）

連絡先：078-322-5159

## 簡易認証のログイン方法

### 【ICカードを使用して利用者登録を行った方】

- (1) 電子入札システムの「物品はこちら」をクリックすると、調達機関選択画面（発注者用）が表示されます。調達機関で「神戸市」を選択し、「物品、役務（簡易認証）」をクリックします。

電子入札共同運営トップページ>>

**電子入札システム**

>> 工事はこちら  
>> **物品はこちら**

利用規約  
個人情報について  
事前準備  
操作方法  
よくある質問

お問い合わせ  
(市町等の案件に参加される方)

お問い合わせ  
(兵庫県出納局の案件に参加される方)

電子入札共同運営ページの目次

**トピックス**

- ◆ **【お知らせ】ポータルサイトシステムの停止について**  
メンテナンス作業のため、兵庫県電子入札共同運営システムのポータルサイト（このサイト）を以下の日程で停止いたします。停止中はサイトの閲覧ができませんので、あらかじめご承知おきいただきますようお願いいたします。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。  
■ 日程  
・令和5年7月31日(月)18:00～19:00
- ◆ **【重要】電子入札補助アプリの脆弱性に伴うバージョンアップについて**  
電子入札補助アプリのV1.2以前のバージョンに脆弱性が確認されました。それに伴い現在、電子入札補助アプリのV1.3がリリースされていますので、バージョンアップをお願いいたします。

**新着情報**

新着情報はありません

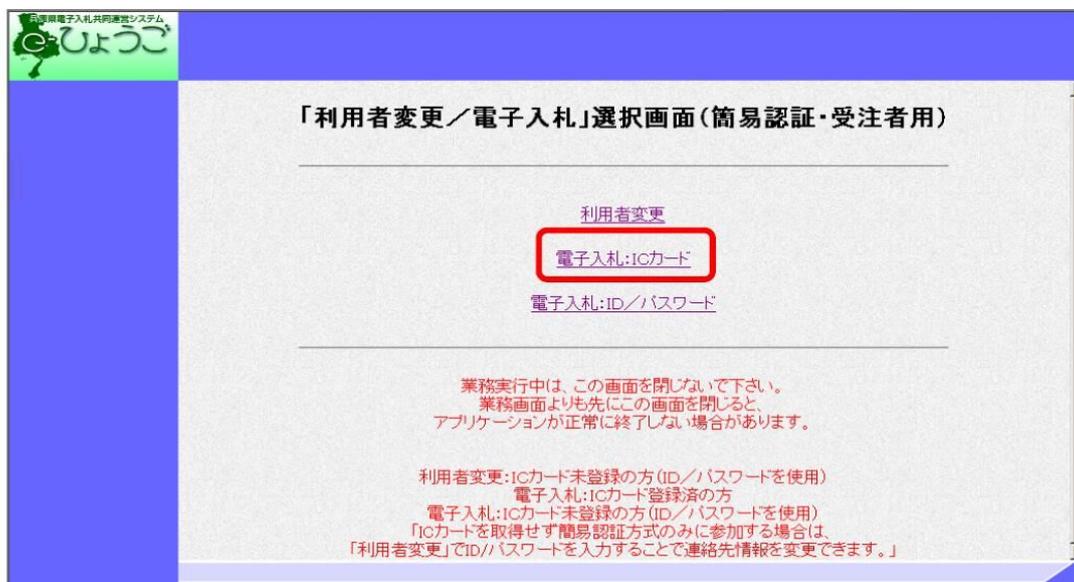
調達機関選択画面（受注者用）

調達機関：  神戸市  
 姫路市  
 淡路広域水道企業団  
 検証用市

物品、役務（通常認証）  
 物品、役務（簡易認証）

利用者登録を行う場合、物品、役務（通常認証）・物品、役務（簡易認証）に参加される方で、ICカードをお持ちの方は、「◎物品、役務（通常認証）」を選択します。  
ICカードが無く、物品、役務（簡易認証）のみに参加される方は、ID/パスワードによる利用者変更となるため、「◎物品、役務（簡易認証）」を選択します。

(2) 「電子入札：ICカード」を選択します。

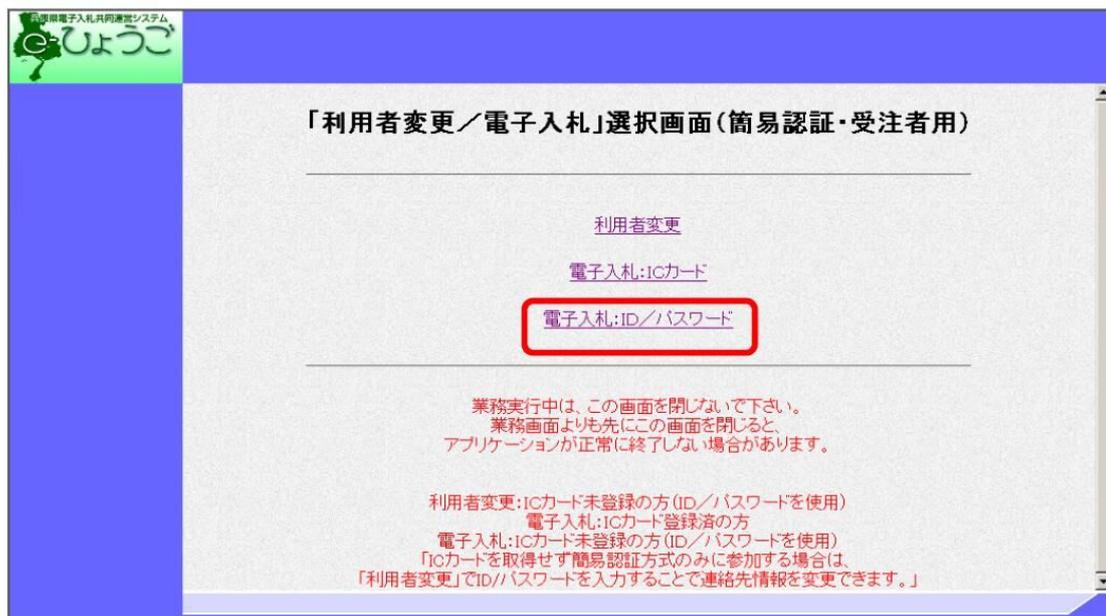


### 【ICカードを使用した利用者登録を行っていない方】

(1) 電子入札システムの「物品はこちら」をクリックすると、調達機関選択画面（発注者用）が表示されます。調達機関で「神戸市」を選択し、「物品、役務（簡易認証）」をクリックします。



(2) 「電子入札：ID/パスワード」を選択します。(認定通知書に記載の ID・パスワードが必要です)

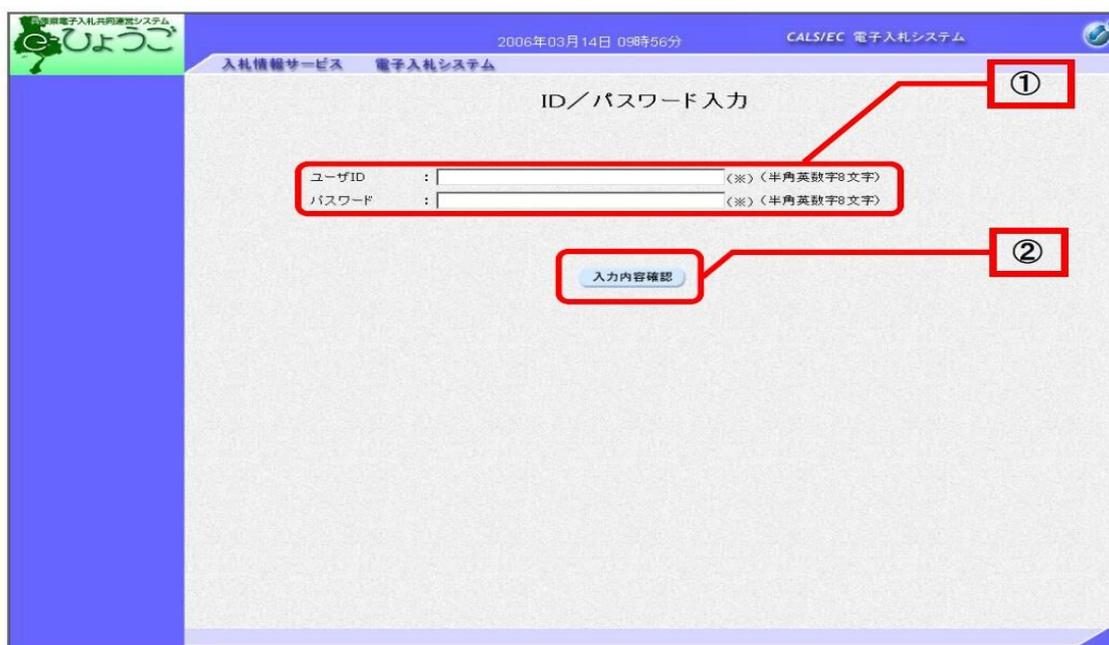


(3) 受注者クライアント画面が表示されます。必要なファイルを読み込みますので、画面上部中央に時刻が表示されるまで、操作をしないでお待ちください。

(4) 時刻が表示されたら、画面上部の「電子入札システム」をクリックします。



(5) <ID/パスワード>画面が表示されますので、認定通知書に記載の ID・パスワードを入力し、「入力確認」をクリックします。



(6) <ID/パスワードログイン>画面が表示されますので、ID・パスワードを確認し、「ログイン」をクリックします。



# 第1章

## MFA 利用手順書

電子入札システムでは、ID／パスワードでのログイン画面において、セキュリティ強化のためにワンタイムパスワードによる多要素認証(MFA)を採用しています。本書では、MFA 利用手順について説明します。

・MFA を利用する場合  
以下の順で実施ください。

・MFA を利用しない場合  
以下実施ください。

### 1 ワンタイムパスワード初期設定

MFA で必要となるワンタイムパスワード初期設定(アプリインストール/設定)について説明します。

### 3 MFA を「利用しない」を選択する方法

MFA を「利用しない」を選択する方法について説明します。



### 2 システムログイン(2回目以降)

ワンタイムパスワード初期設定後のシステムログインについて説明します。

※必要に応じて、以下補足説明を参照ください。

### 4 補足説明

以下について説明します。

- ・MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法
- ・複数端末で MFA を利用する方法
- ・認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法(MFA 設定初期化)

# 1.1 ワンタイムパスワード初期設定

## 1.1.1 認証システムアプリの入手

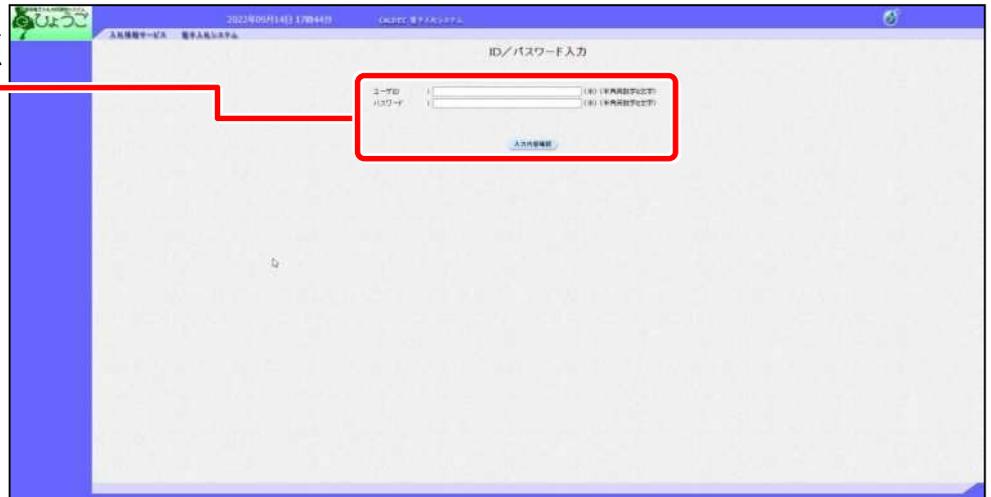
### 1. 画面説明

ワンタイムパスワード認証システムアプリの入手方法を説明します。  
本手順書では電子入札システム少額物品ログイン画面の場合の操作例を記載します。  
なお、少額物品利用者変更画面も同様の操作となります。

### 2. 操作説明

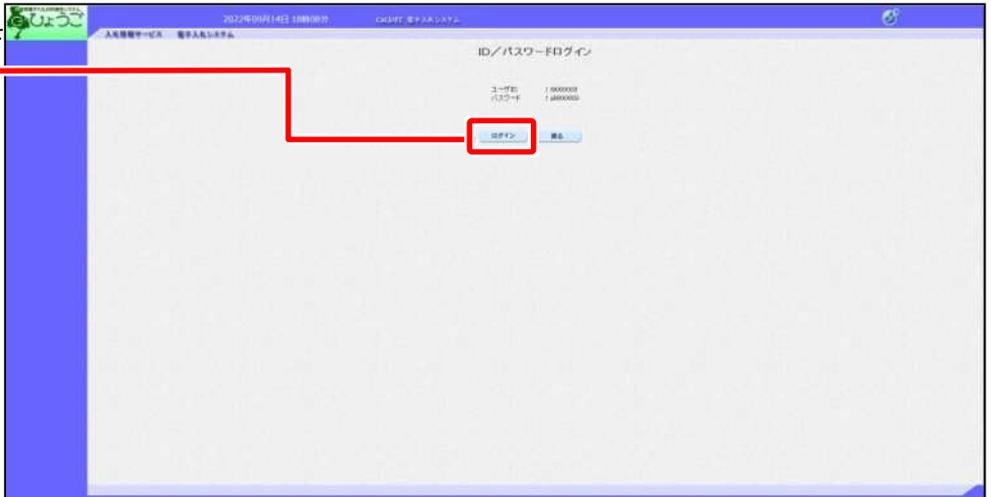
#### Step 1

ID／パスワードを入力し、入力内容確認ボタンを押下する



#### Step 2

ログインボタンを押下する



Step 3

「認証システムアプリの入手先を表示」を押下する



Step 4

スマートフォンの場合はQR、PCの場合はリンクからアプリをインストールする



「1.1.2 認証システムアプリインストール、設定」へ進みます



## 1. 1 ワンタイムパスワード初期設定

### 1. 1. 2 認証システムアプリインストール、設定

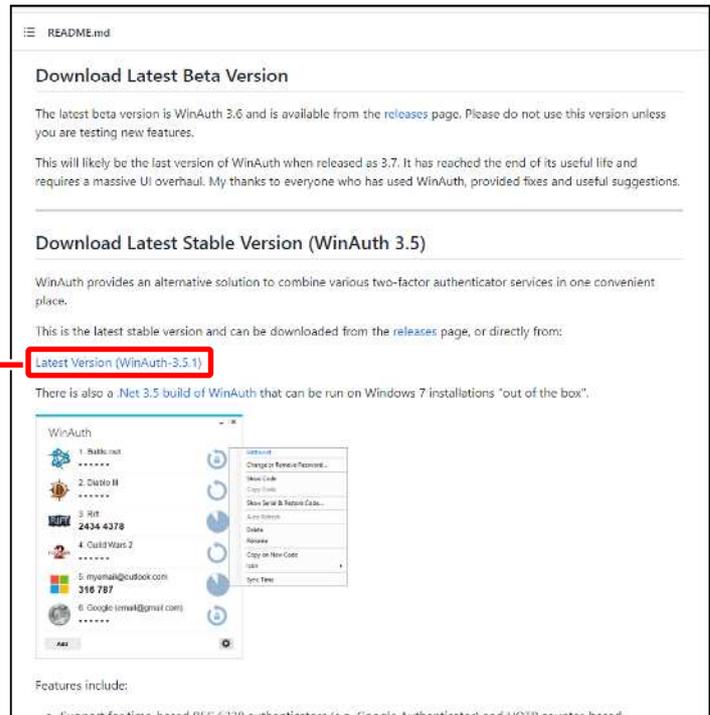
#### 1. 1. 2. 1 PC 用アプリ

Step 1

<https://github.com/winauth/winauth> からダウンロードサイトへ遷移する

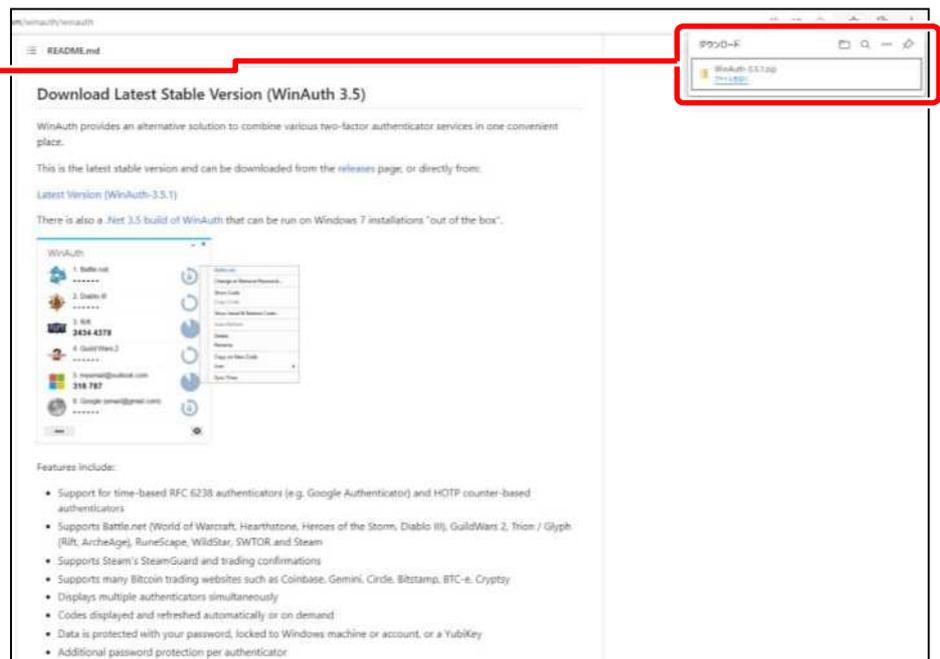
Step 2

「Latest Version～」を  
押下する



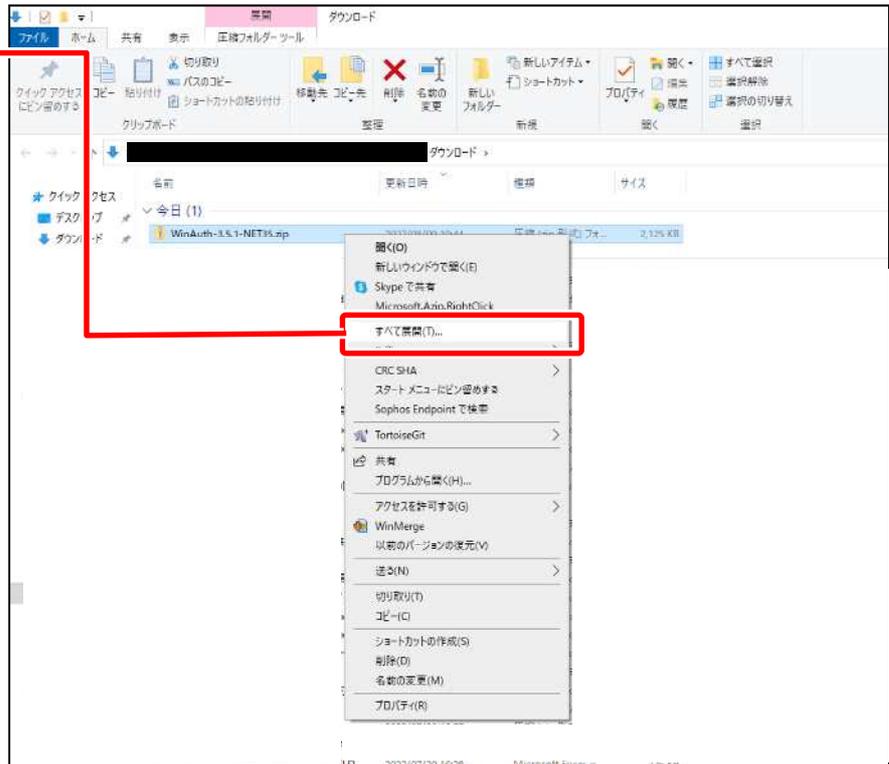
Step 3

ファイルのダウンロードが自動的に  
行われる  
ダウンロードが完了後、「フォルダを  
開く」を押下する



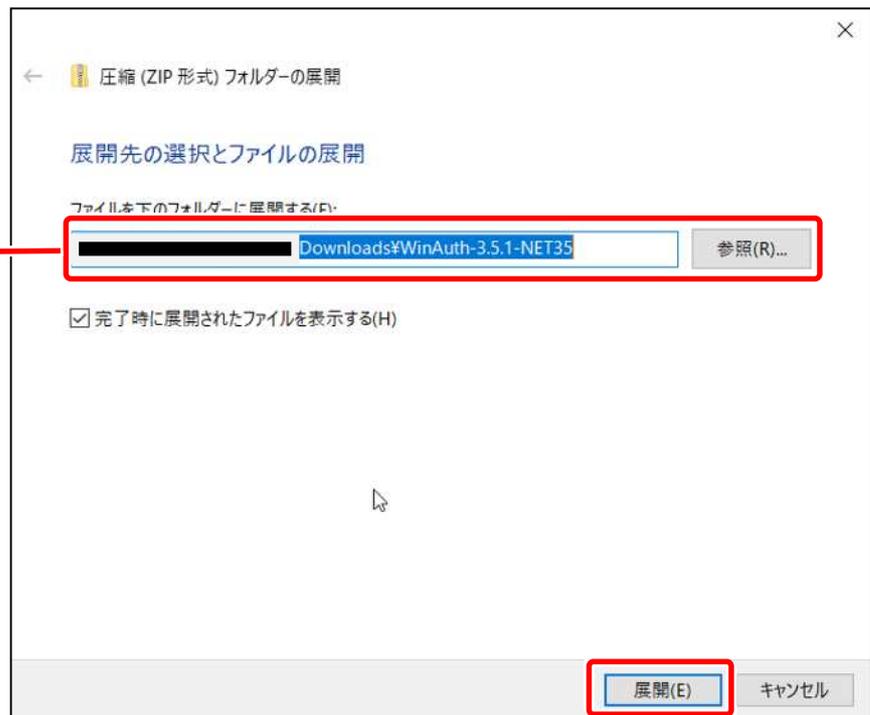
## Step 4

フォルダが開くので、対象の zip を「右クリック」→「すべて展開」



## Step 5

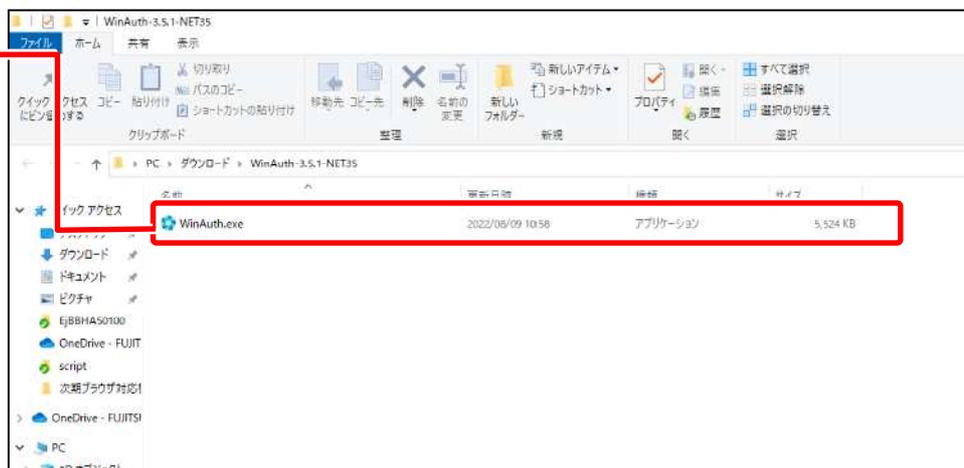
展開先に任意の場所を選択し、展開ボタンを押下する



## 1.1 ワンタイムパスワード初期設定

### Step 6

WinAuth.exe をダブルクリックする



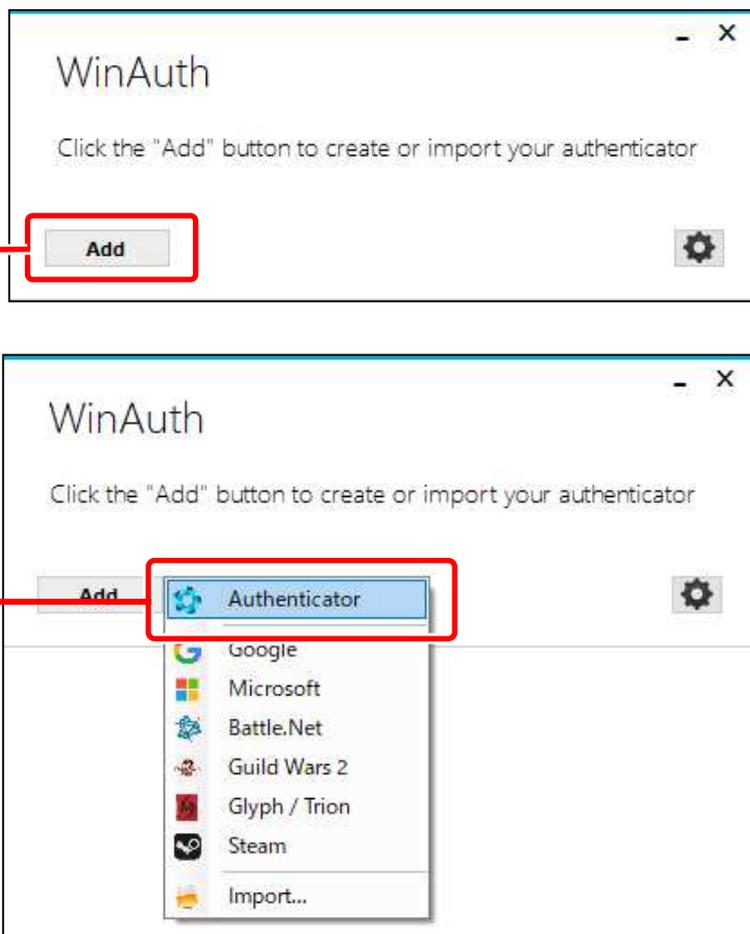
### ワンポイント

PC 版の場合、「WinAuth.exe」を毎回実行してワンタイムパスワードを確認することとなります。

初期セットアップ時にダウンロードした「WinAuth.exe」は削除せず、任意のフォルダへ配置をお願いします。

### Step 7

Add を押下後、Authenticator をクリックする



## Step 8

右のような画面が表示される

Name は任意のものを設定可能  
 (「〇〇県〇〇市電子入札」などのシステムの設定か判別できるように入力)

Add Authenticator

Name:

1. Enter the Secret Code for your authenticator. Spaces don't matter. If you have a QR code, you can paste the URL of the image instead.

2. Choose if this is a time-based or a counter-based authenticator. If you don't know, it's likely time-based, so just leave the default choice.

Time-based  Counter-based

3. Click the Verify button to check the first code.

4. Verify the following code matches your service.

※ご利用になる調達機関毎の設定が必要となるため、判別できるように入力してください。

## Step 9

「1.1.1 認証システムアプリの入手」の Step 3 の画面を開き、「シークレットキーを表示」ボタンを押下する

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。  
 ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。  
 認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。  
 初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認することができます。

・まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。  
 ・今後、ワンタイムパスワードを利用しない。

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください

認証システムアプリの入手先を表示

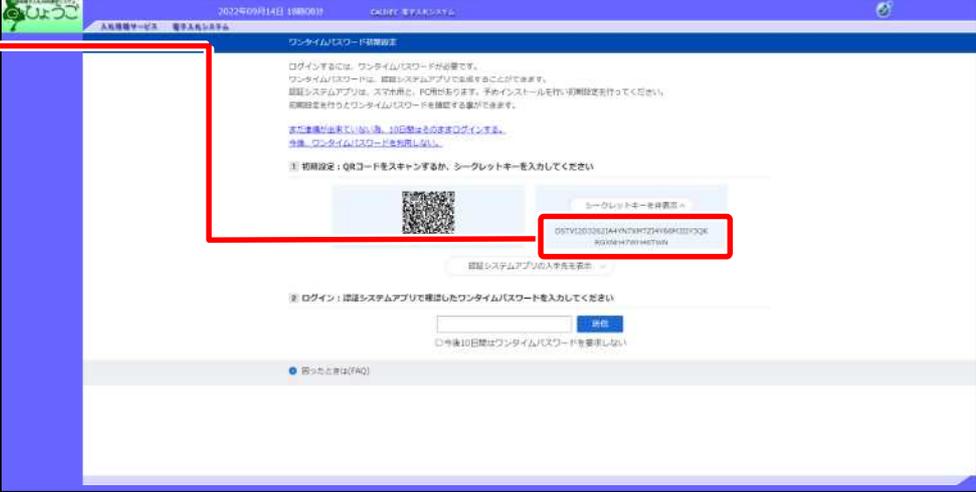
2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

エラーメッセージ最大30文字 エラーメッセージ最大30文字エラー  
 今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

困ったときは(FAQ)

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

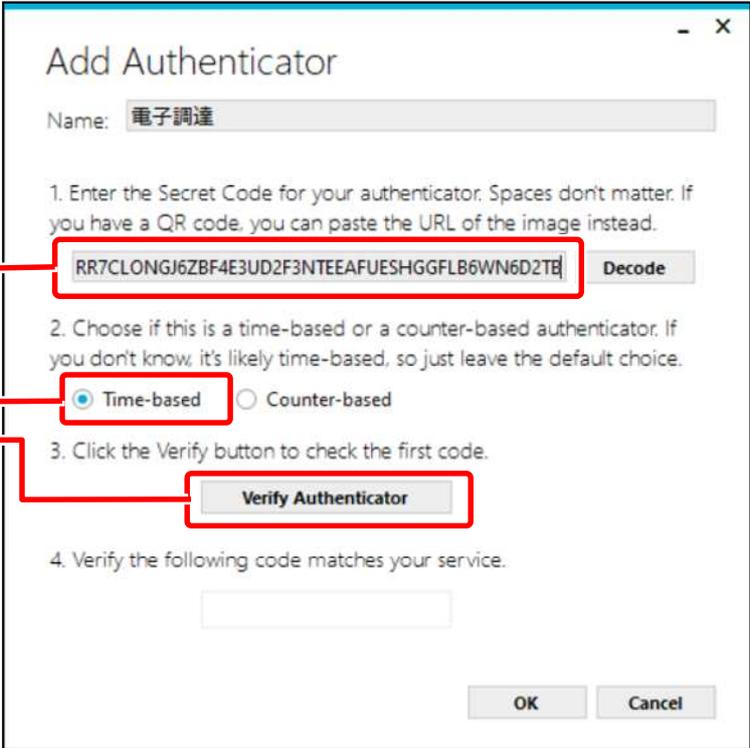
**Step 10** シークレットキーが表示される



**Step 11** Step 10 で取得したシークレットキーを「1.Enter the Secret Code for ...」のテキストボックスに入力する

ラジオボタンは「Time-based」を選択する

「Verify Authenticator」をクリックする



## Step 12

ワンタイムパスワードが表示される(Step 11 まで設定完了すると自動的に表示されますがここでは特に使用しません)

「OK」をクリックする

## Step 13

認証システムアプリに対してパスワードを設定する画面が表示されるので、任意の設定を行い「OK」を押下する  
※認証システムアプリ起動時に入力が必要となるパスワードです。

【パスワードを設定する場合】

- Password: 任意のパスワードを入力
- Verify: 確認入力(上記と同じパスワード)

【パスワードを設定しない場合】

は、左上の青いチェックを外して「OK」を押下する



## ワンポイント

Step13 で設定するパスワードは、WinAuth 自体のセキュリティのためのものであり、システムで利用されるものではありません。マルウェア等によりアプリ上のデータを取得されてしまうことを防ぐためのパスワードです。

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

**Step 14** 6桁のワンタイムパスワードが生成される



※時間がたつとワンタイムパスワードが無効になるが、右側のボタンを押下することで、また新しいパスワードが生成される



**Step 15** Step 14 で生成されたワンタイムパスワードを、システム側に入力し、送信ボタンを押下する



**Step 16** 業務画面へ遷移する





## ワンポイント

生成したワンタイムパスワードを自動でコピーできる機能があります。

1. ワンタイムパスワードの画面を表示する
2. 数字のもしくはハイフンの付近でマウスの右クリック
3. 画面のようなメニューが表示されるので「Copy on New Code」をクリックする



## ワンポイント

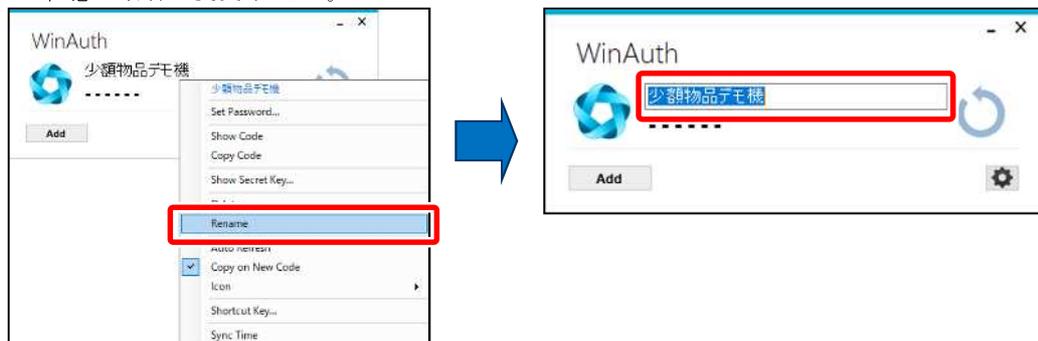
同じ利用者で、2画面以上登録する場合も初期設定手順と変わりません。

1つ目の画面が登録された状態で、再度「1-6 ページ Step 7」から実施ください。



## ワンポイント

ワンタイムパスワードの名称を変更したい場合は、対象機関の名称の上で右クリック→「Rename」を選択して任意の名称に変更ください。



## 1.1 ワンタイムパスワード初期設定

### 1.1.2.2 スマートフォン用アプリ

#### Step 1

QRコードを読み取る

「1.1.1 認証システムアプリの入手 Step4」のQRコードを読み取る（iphoneの場合はAppStore、Androidの場合はGoogle Playで「Google Authenticator」と検索することもアプリ入手可能）



#### ワンポイント

QRコードが読み込めない場合は、ブラウザの表示サイズを拡大してから再度QRコードの読み込みをお願いします。

※ブラウザの表示サイズは、【Ctrl】キーを押しながら、マウスのスクロールホイールを上下に動かすことで調整可能です。

※【Ctrl】+【0】で元の画面サイズ(100%)に戻せます。

#### Step 2

アプリを入手する

「入手」ボタンを押下する  
※すでにインストールされている場合は「開く」ボタンが、インストールしたことがある場合はクラウドマークが表示される



**Step 3**

インストール後、アプリを開き、「開始」ボタンを押下する

**Step 4**

「QR コードをスキャン」を押下する



## 1.1 ワンタイムパスワード初期設定

### Step 5

スマートフォンのカメラが起動するので、「1.1.1 認証システムアプリの入手」の Step 3 の画面を開き、QRコードを読み取る

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。  
ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。  
認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。  
初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認する事ができます。

- ・まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。
- ・その後、ワンタイムパスワードを利用しない。

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください

シークレットキーを表示

認証システムアプリの入手先を表示

2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

送信

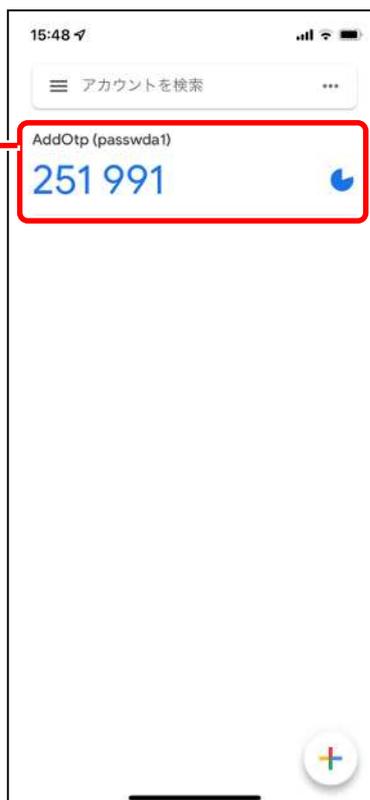
エラーメッセージ最大30文字 エラーメッセージ最大30文字エラー

今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

困ったときは(FAQ)

### Step 6

ワンタイムパスワードが生成される

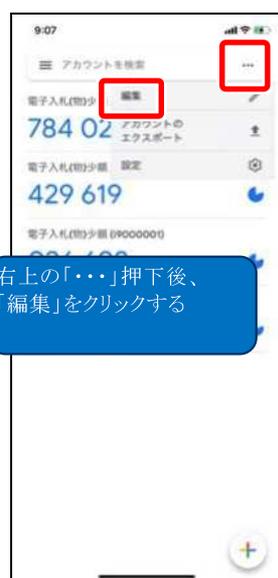




## ワンポイント

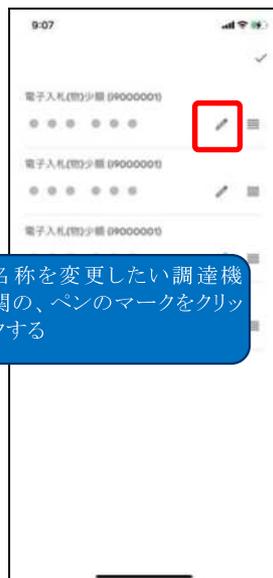
スマホアプリにおいて、ID 部分の名称変更が可能です。  
これにより、調達機関ごとの識別が可能となります。  
※以下、iphone の場合の操作例となります。

1.



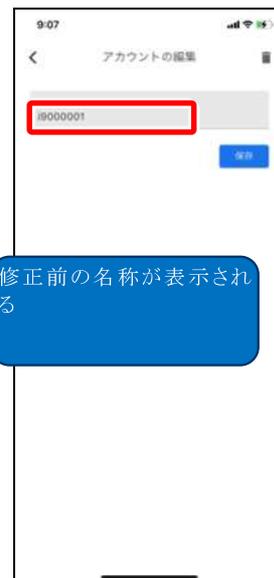
右上の「・・・」押下後、「編集」をクリックする

2.



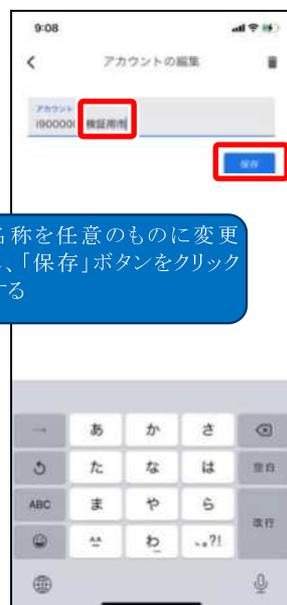
名称を変更したい調達機関の、ペンのマークをクリックする

3.



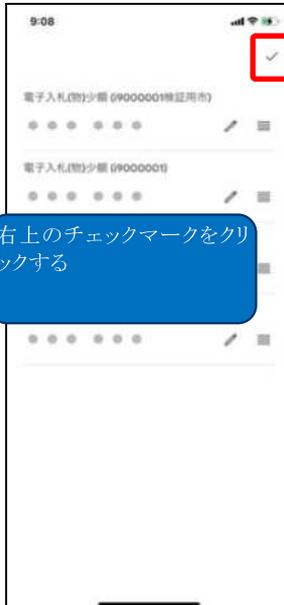
修正前の名称が表示される

4.



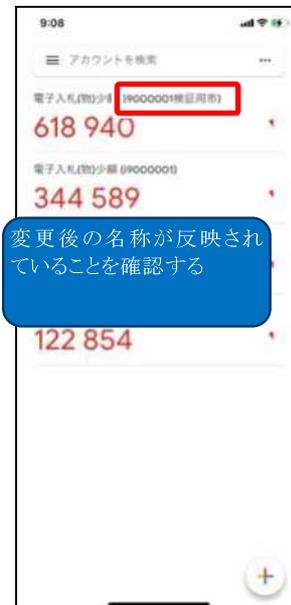
名称を任意のものに変更し、「保存」ボタンをクリックする

5.



右上のチェックマークをクリックする

6.



変更後の名称が反映されていることを確認する

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

Step 7

Step 6 で生成されたワンタイムパスワードを入力し、送信ボタンを押下する



Step 8

業務画面へ遷移する



ワンポイント

同じ利用者で、2画面以上登録する場合は以下参照ください。



以降の手順は、「1-14 ページ Step 5」と同様になります。



## ワンポイント

「まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。」という項目があります。これは、アプリをインストールする端末(PCまたはスマートフォン)が準備できていない場合に、これを選択すれば10日間は従来通りの運用、10日後に再度この画面を表示することが可能となる機能です。

# 1.2 システムログイン(2回目以降)

## 1.2.1 システムログイン(2回目以降)

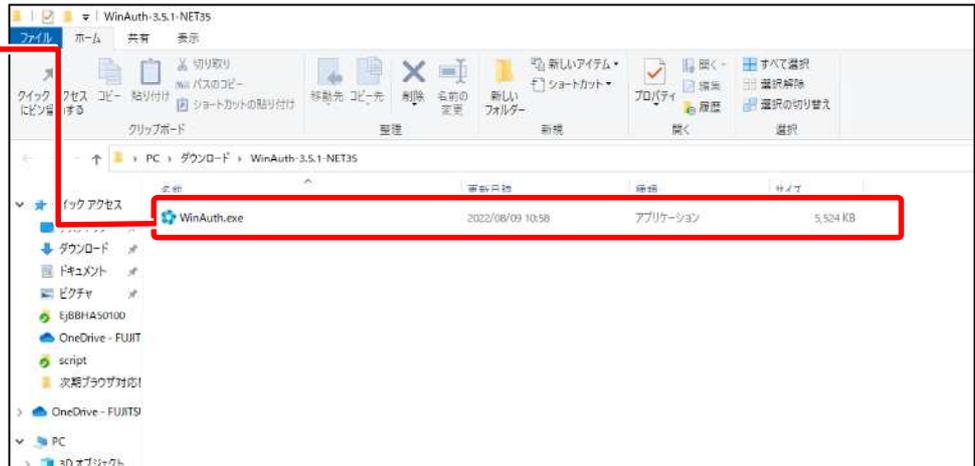
### 1. 画面説明

ワンタイムパスワード初期設定後のシステムログインについて説明します。  
以下手順は2回目以降ログインされる際の手順となります。

### 2. 操作説明

#### Step 1

WinAuth.exe をダブルクリックして WinAuth を起動する



※ワンタイムパスワードを取得する際、WinAuth を起動しておく必要があります。

「1.1.2.1 PC 用アプリ」の Step 13 でパスワードを設定した場合は、設定済みパスワードの入力後に起動します。

(スマートフォンの場合は Step 1 の手順は不要です。)

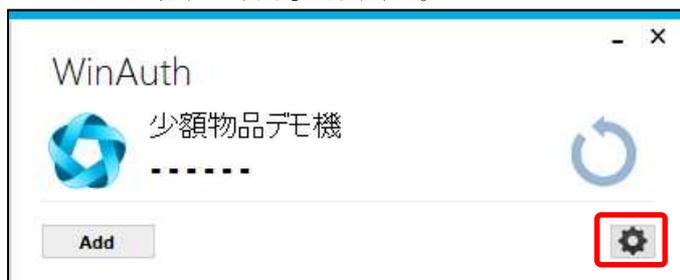


## ワンポイント

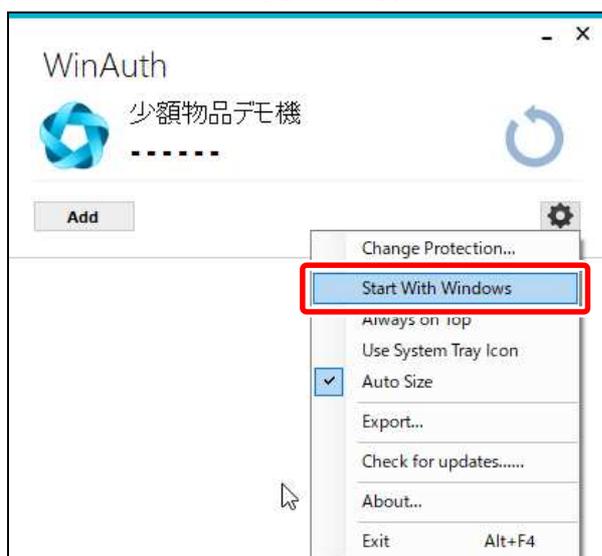
WinAuth のスタートアップ機能を使うことで、パソコン起動時に WinAuth を自動で起動することができます。

以下、スタートアップ設定手順となります。

1. WinAuth 右下の「歯車」を押下する。



2. 「Start With Windows」を押下する。



1. 2 システムログイン(2回目以降)

Step 2

ID/パスワードを入力し、入力内容確認ボタンを押下する



Step 3

ワンタイムパスワードを確認する

PC用アプリ



スマホ用アプリ



**Step 4** Step2 で確認したワンタイムパスワードを入力し、送信ボタンを押下する



**Step 5** ログインが完了し、業務画面に遷移する



# 1.3 MFAを「利用しない」を選択する方法

## 1.3.1 MFAを「利用しない」を選択する方法

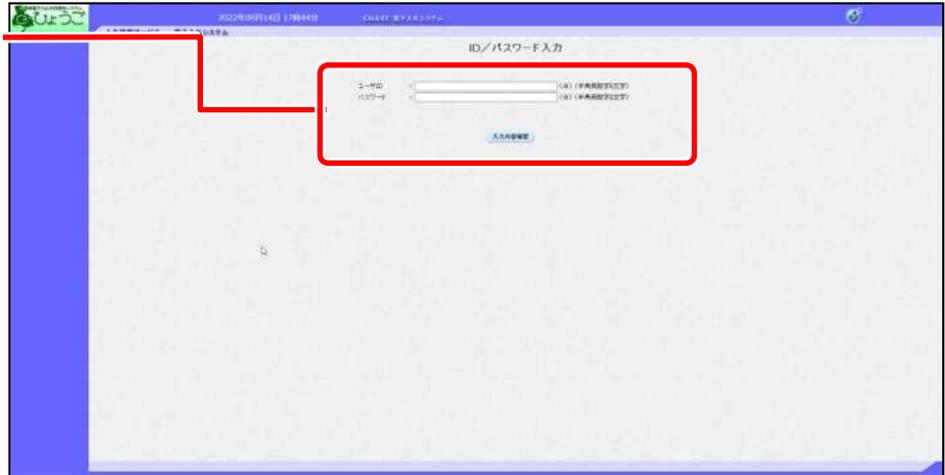
### 1. 画面説明

利用者側でMFAを「利用しない」を選択する方法を説明します。

### 2. 操作説明

#### Step 1

ID／パスワードを入力し、ログインする



#### Step 2

初期設定画面において、「今後、ワンタイムパスワードを利用しない。」を選択する



次回以降、当画面が表示されず、従来通りの運用が可能となります。



## ワンポイント

MFAを「利用しない」を選択後に、MFAを利用しなくなった場合は、システム側で設定変更が必要です。

以下の内容で、電子調達ヘルプデスクにメールでご依頼ください。

メール宛先	jichi1-cals-mfareset@ml.css.fujitsu.com
件名	MFAを「利用しない」から「利用する」への変更依頼
本文	<p>以下内容を記載ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象発注機関（※初期化対象の発注機関を記入してください。） 〇〇県/〇〇市</li> <li>対象画面（※初期化対象の画面をすべて記入してください。） 例）少額物品利用者変更、少額物品 ID/パスワードログイン</li> <li>ユーザ ID（※ログイン時のユーザ ID を記入してください。） 〇〇〇</li> <li>所属名等 （※入札参加資格者名簿に登録されている会社名及び資格者名、 または部署名を記入してください。） 例1）〇〇株式会社 代表者 〇〇〇（または受任者 〇〇〇） 例2）〇〇県/〇〇市〇〇部〇〇課</li> <li>依頼された担当者 〇〇〇</li> <li>連絡先電話番号 999-9999-9999</li> </ol>

# 1.4 補足説明

## 1.4.1 MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法

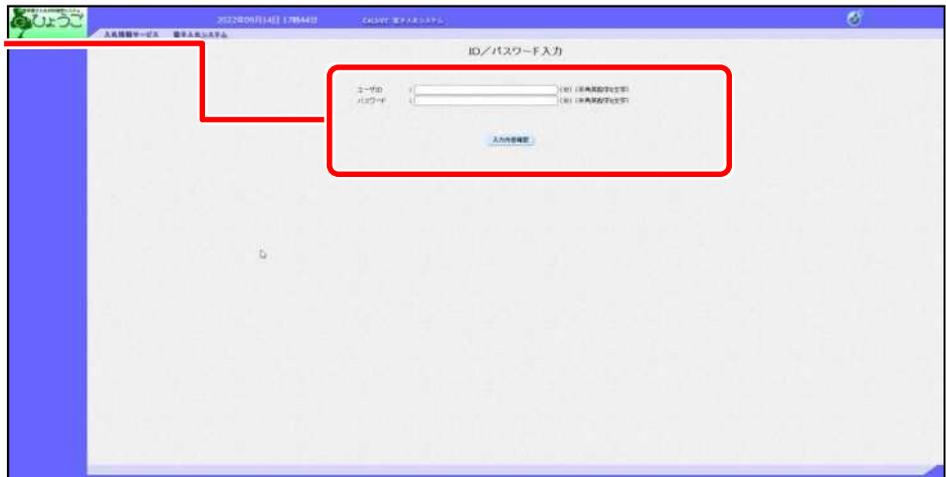
### 1. 画面説明

MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法を説明します。

### 2. 操作説明

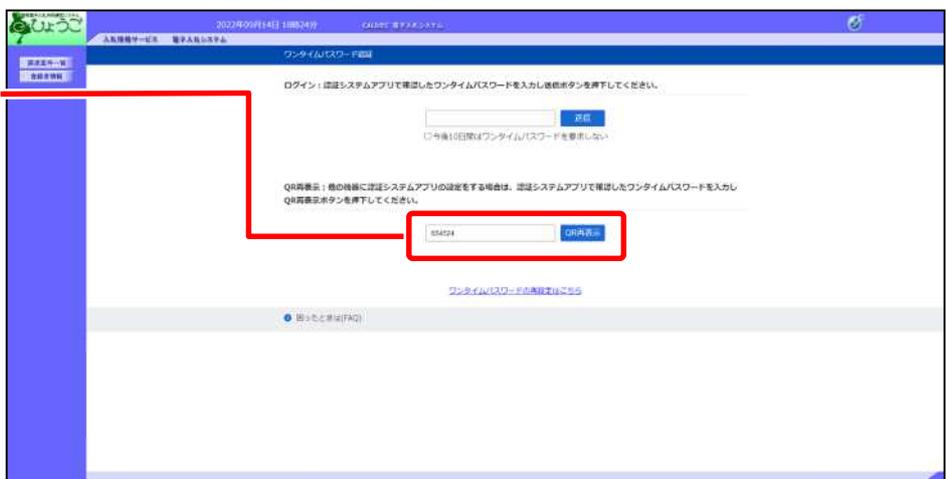
#### Step 1

ID / パスワードを入力し、ログインする



#### Step 2

QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



## Step 3

初回の画面が表示されるので、「今後、ワンタイムパスワードを利用しない。」を選択する

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。  
ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。  
認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。  
初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認することができます。  
まだ準備が出来ていない方は、10日間はずのままログインする。  
**今後、ワンタイムパスワードを利用しない。**

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください



2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

エラーメッセージ最大30文字エラーメッセージ最大30文字エラー

今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

[困ったときは\(FAQ\)](#)

## 1.4.2 複数端末で MFA を利用する方法

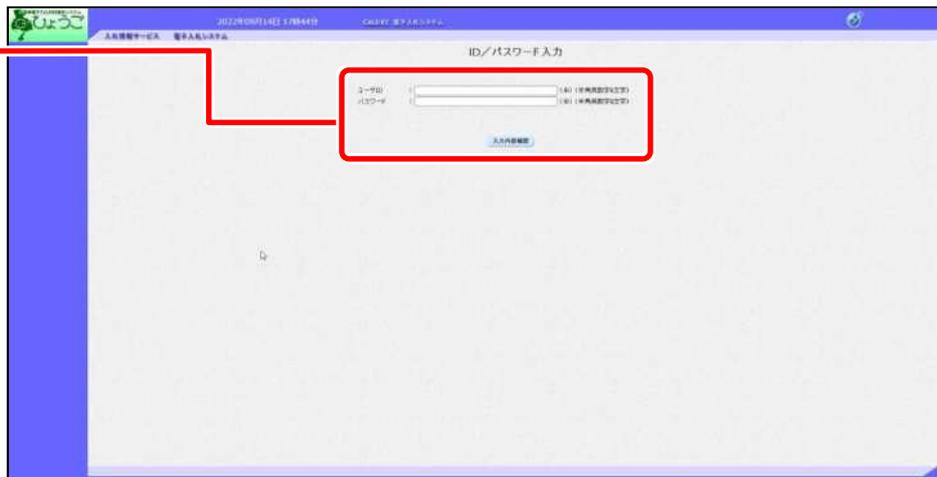
### 1. 画面説明

複数端末で MFA を利用する方法を説明します。  
この操作は2台目以降の端末で行うものとなります。

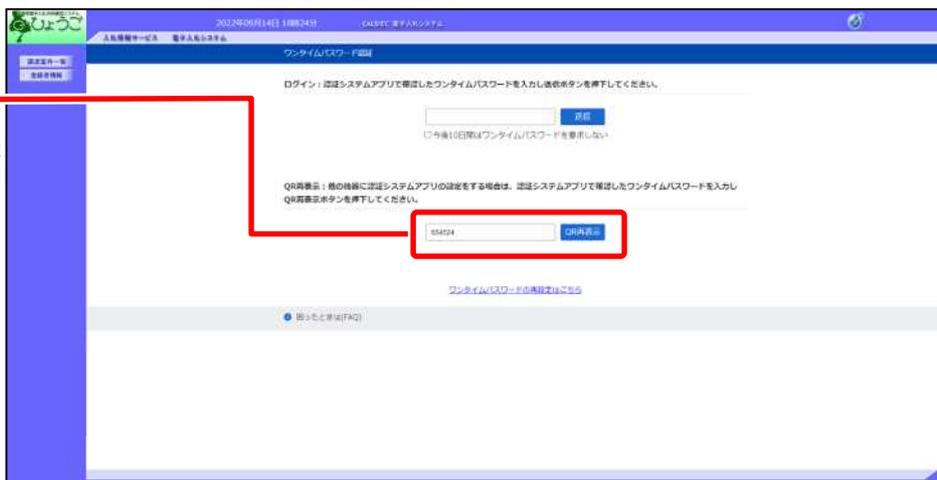
### 2. 操作説明

#### 【PC の場合】

**Step 1** ID / パスワードを入力し、ログインする



**Step 2** QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



## Step 3

「1.1.1 Step3」の画面が表示されるので、シークレットキーを表示し、1台目と同様の設定をする

※シークレットキーは1台目の端末と同じ値になります。



### ワンポイント

WinAuth(PC用アプリ)の場合は、アプリ上から、シークレットキーを表示してコピーできます。QR再表示をせずに、2台目以降の端末の設定が可能です。



## ワンポイント

複数端末に設定する場合は、WinAuth の Export 機能を用いて2台目以降の端末に MFA の設定をする方法もあります。  
参考として、以下に手順を記載します。

### ※参考【PC の場合 (WinAuth を用いて2台目以降の端末に MFA 設定する方法)】

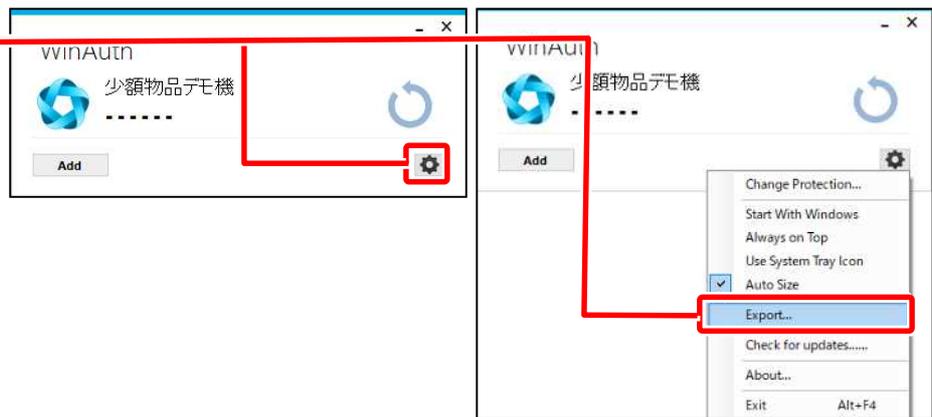
#### Step 1

MFA 設定済みパソコンでエクスプローラーから「WinAuth.exe」をクリックする



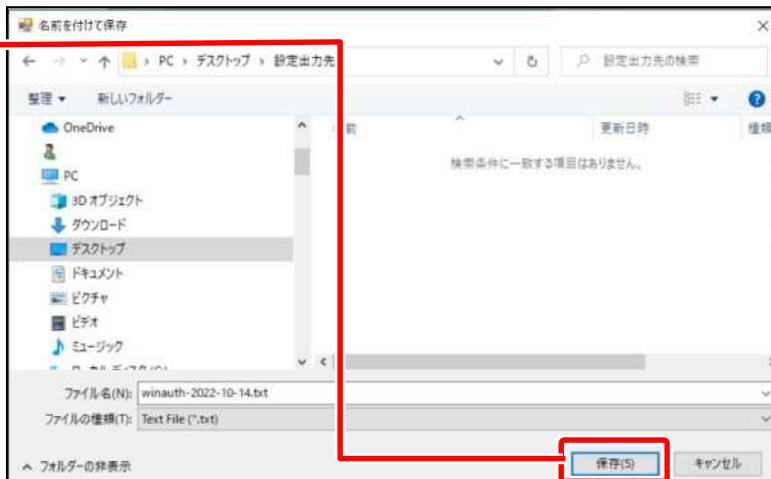
#### Step 2

右下の「歯車」をクリックし「Export」を選択する



#### Step 3

設定情報 (テキストファイル) の出力先を指定し「保存」をクリックする



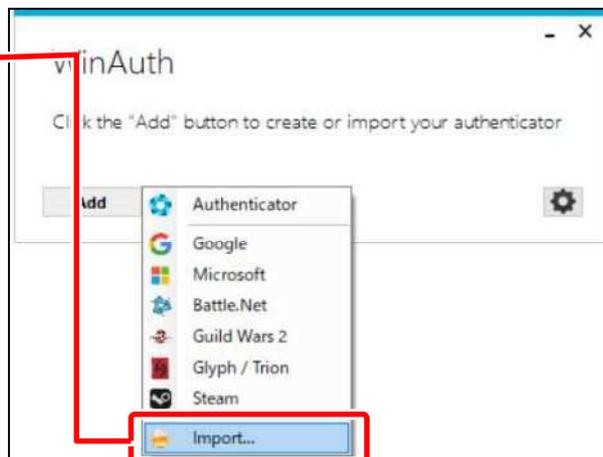
## Step 4

MFA 未設定のパソコンでエクスプローラーから「WinAuth.exe」をクリックする



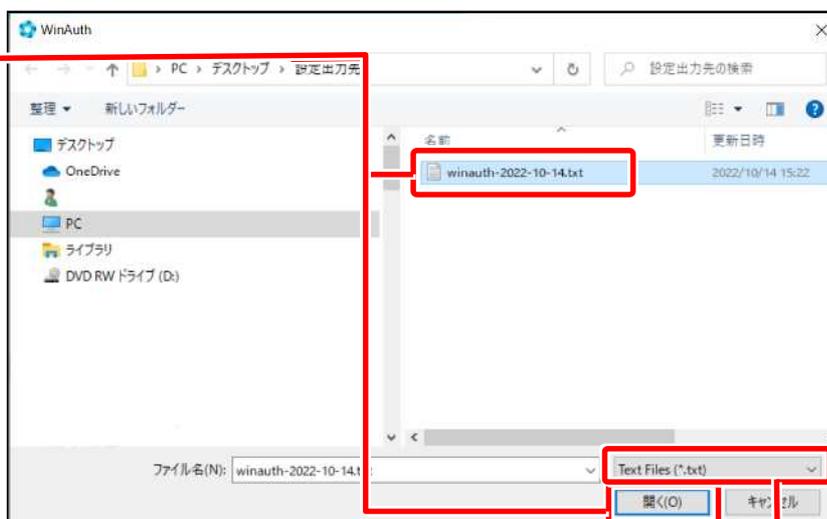
## Step 5

左下の「Add」をクリックし「Import」を選択する



## Step 6

Step 3 で保存したファイルを指定し「開く」を選択する



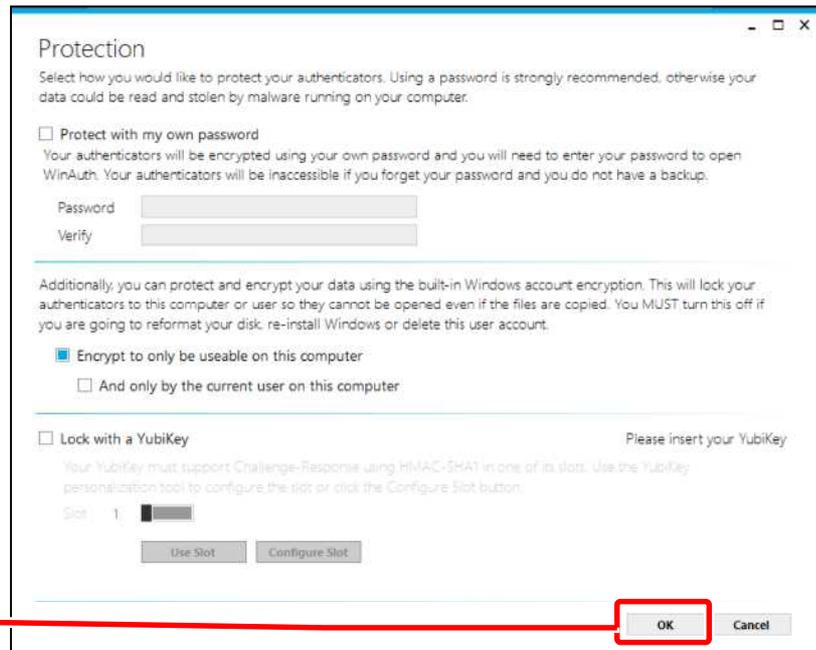
※選択の際ファイル拡張子を「Text Files」にすること

## 1. 4 補足説明

### Step 7

1-9 ページ目の Step 13 を参考に、1 台目と同様に設定する

その後「OK」を押下する



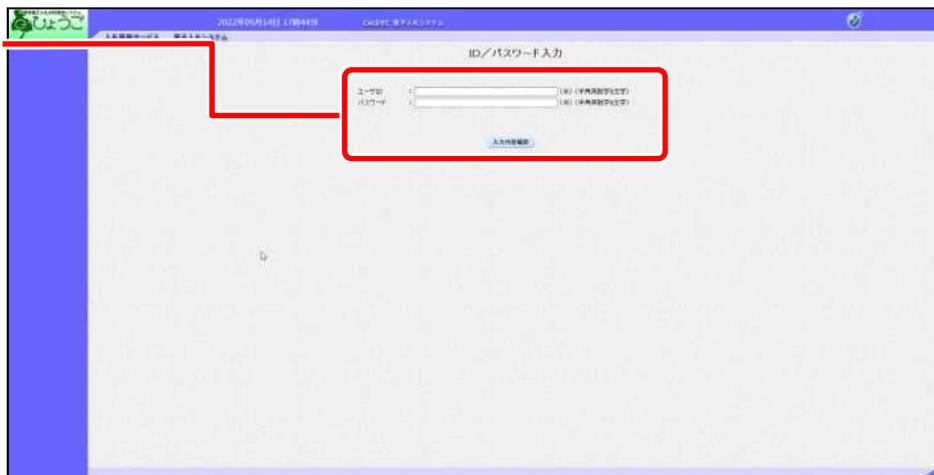
### Step 8

Import 完了を確認する

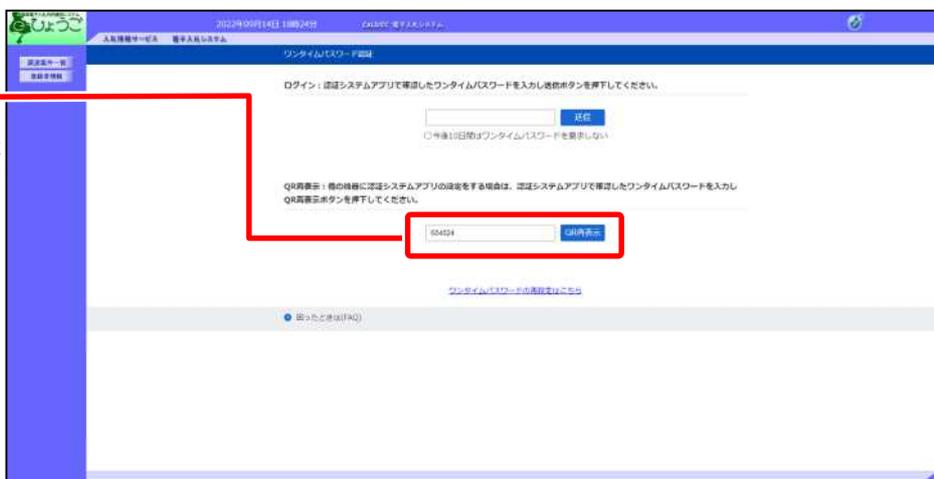


## 【スマートフォンの場合】

**Step 1** ID／パスワードを入力し、ログインする



**Step 2** QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



**Step 3** 「1.1.1 Step3」の画面が表示されるので、QRコードを読み取り、1台目と同様の設定をする





## ワンポイント

複数端末で設定した場合は、同じワンタイムパスワードが表示されます。

## 1.4.3 認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法 (MFA 設定初期化)

### 1. 画面説明

認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法(MFA 設定初期化)を説明します。  
(※利用端末のユーザーアカウント変更時も同様の対応方法となります)

### 2. 操作説明

**Step 1** 利用者から電子調達ヘルプデスクに、メールで初期化依頼する

※以下の内容でご依頼ください。

メール宛先	jichi1-cals-mfareset@ml.css.fujitsu.com
件名	MFA 初期化依頼
本文	<p>以下内容を記載ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>初期化の理由 (※a～c で該当しないものを削除してください。) <ol style="list-style-type: none"> <li>パソコンまたはスマホを変更したため</li> <li>パソコンまたはスマホが故障したため</li> <li>その他(可能な範囲で理由を記入してください)</li> </ol> </li> <li>対象発注機関 (※初期化対象の発注機関を記入してください。) <p>〇〇県/〇〇市</p> </li> <li>対象画面 (※初期化対象の画面をすべて記入してください。) <p>例) 少額物品利用者変更、少額物品 ID/パスワードログイン</p> </li> <li>ユーザ ID (※ログイン時のユーザ ID を記入してください。) <p>〇〇〇</p> </li> <li>所属名等 <p>(※入札参加資格者名簿に登録されている会社名及び資格者名、 または部署名を記入してください。)</p> <p>例1) 〇〇株式会社 代表者 〇〇〇(または受任者 〇〇〇)</p> <p>例2) 〇〇県/〇〇市〇〇部〇〇課</p> </li> <li>依頼された担当者 <p>〇〇〇</p> </li> <li>連絡先電話番号 <p>999-9999-9999</p> </li> </ol>

**Step 2**

電子調達ヘルプデスクが初期化処理実施後に、利用者が新端末で初期設定(「1.1.1 認証システムアプリの入手」から)する



### 注意

複数端末でMFAを利用している場合、初期化処理を実施すると、破損/紛失/旧担当者端末以外の端末を含む全端末で再度初期設定が必要となります。また、認証システムアプリ上から、既存のアカウント情報を削除も必要となります。